

川の国埼玉活力創出事業費（令和3年度予算 3,177千円）

事業目的

- 1 県の魅力の1つである「川」を埼玉ブランドに押し上げ、県内外に『川の国埼玉』を浸透させます。
- 2 水辺空間の魅力を向上させることにより、観光入込客の増加や県内への民間投資を促進します。

好循環のスパイラル

1. 水辺に人が集まる。

3. 地域や企業の活動がどんどん進む。

2. 水辺の利用価値がぐっと高まる。

活力創出のステップ

事業内容

1 水辺に人を集め、『川の国埼玉』の認知度と価値を高める取組 **【短期戦略】**



(1) 川の国埼玉インフラツーリズムの推進

- ・ 川の絶景ポイント、ダム、砂防堰堤（土木遺産）を紹介する動画（ドローン空撮, 水上撮影等）を制作します。
- ・ 県公式観光サイト「ちょこたび埼玉」での情報発信を進めます。

水辺空間の
ニューノーマルを提案

(2) 「新しい生活様式」による水辺の利活用を促進

- ・ 「新しい生活様式」に対応した水辺のイベント、祭り、まち歩き的情報を SNS 広告等により発信します。
（ソーシャルメディアを確保した水辺空間の利活用を推進）
- ・ 市町村、民間企業と連携し、新たな魅力を創出します。



2 地域や企業の活動を促進し、多彩な水辺空間を創出する取組 **【中期戦略】**

(1) 水辺 de ベンチャーチャレンジ（民間事業者等と連携した水辺空間の利活用）の情報発信

- ・ 埼玉版 SDGs の取組の1つである Next 川の再生に係る情報（事業スキーム、河川敷地未利用地調査の結果等）を公共空間の情報 Web サイトにより効果的に発信し、民間事業者等の川の再生事業への参画を図ります。

河川敷地の
商業利用を促進



(2) 水辺空間とことん活用プロジェクトの推進

- ・ 自然豊かな水辺空間と整備箇所をとことん活用するため、県では地域活性化のために河川敷地の商業利用を図りたい市町村・民間企業等を支援します。

(3) 川の国埼玉未来塾（地域住民参加型のワークショップ）の開催

- ・ 地域住民・活動団体や大学と連携し、魅力ある水辺空間の創出と利活用の可能性を検討します。
- ・ 地域が主体となるソフト事業を企画・提案します
（SAITAMA リバーサポーターズとの連携）
- ・ 民間企業や団体が水辺活用への参入をするよう機運醸成します（官民連携プラットフォームの活用）

ワークショップ
実施の様子

